

連結ベース

■ 損益状況

(単位：百万円)

科 目	平成23年度中間期	平成24年度中間期
経 常 収 益	58,257	54,713
経 常 費 用 (△)	54,050	49,805
経 常 利 益	4,206	4,908
中 間 純 利 益	4,096	3,892

経営環境

当中間連結会計期間のわが国経済は、復興関連需要が公的需要、民間需要の両面で増加する中で、国内需要が堅調に推移し、緩やかに持ち直しつつありました。しかしながら、その後は、海外経済の減速した状態が強まっていることを反映して、輸出や鉱工業生産が減少し、内需にもその影響が一部及び始め、景気は弱含みとなっております。

物価情勢につきましては、企業物価は、国際商品市況が反落したことの影響に加え、アジア市場における需給緩和から鉄鋼価格が弱含んでいることもあって、マイナスに転じております。消費者物価の前年比は、概ねゼロ％となっております。

金融面につきましては、日本銀行による包括的な金融緩和政策のもと、無担保コール市場の翌日物金利が実質的なゼロ金利水準で推移しております。長期金利は、日本国債利回り（10年物）が0.8％程度の低水準で横ばい圏内の動きとなっております。

株価につきましては、7月下旬にかけては、欧州債務問題を巡る懸念の強まりや米国経済指標の下振れなどを受けた米欧株価の下落につれて軟調に推移し、一時8千円台前半まで下落しましたが、その後、欧州債務問題への懸念が後退し、投資家のリスク回避姿勢がやや後退したことなどから、9月末の日経平均株価は8,800円台となりました。

単体ベース

■ 損益状況

(単位：百万円)

科 目	平成23年度中間期	平成24年度中間期
営 業 収 益	6,812	6,054
営 業 費 用 (△)	461	371
営 業 利 益	6,351	5,682
経 常 利 益	6,333	5,677
中 間 純 利 益	6,349	5,666

業績の概要

当社グループ連結業績につきましては、当中間連結会計期間の経常収益は、資金運用収益341億69百万円、役務取引等収益82億8百万円、その他業務収益72億81百万円及びその他経常収益50億53百万円を計上し、547億13百万円となりました。また、経常費用は、資金調達費用48億61百万円、役務取引等費用25億51百万円、その他業務費用4億59百万円、営業経費271億99百万円及びその他経常費用147億31百万円を計上し、498億5百万円となりました。

以上の結果、経常利益は49億8百万円となり、負ののれん発生益の特別利益及び固定資産処分損等の特別損失計上後の税金等調整前中間純利益は53億61百万円となりました。また、法人税等合計10億35百万円並びに少数株主利益4億33百万円を計上後の中間純利益は38億92百万円となりました。

当社単体業績につきましては、子銀行からの受取配当金を中心に営業収益は60億54百万円となりました。一方、販売費及び一般管理費の営業費用を3億71百万円計上したことから、営業利益は56億82百万円となりました。また、創立費償却を中心に、営業外費用を24百万円計上したことから、中間純利益は56億66百万円となりました。